

## 医師を目指す高校生に防衛医科大学校をPR

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 一 空尉）は8月28日（水）桐蔭学園（桐蔭学園中等教育学校・桐蔭学園高校・横浜市）の生徒に対して防衛医科大学校をメインとした説明会を実施した。同校からは毎年医学科の受験者が多数おり、説明会を欠かさず行っている。

当日は広報官と共に近藤所長も高校へ出向き、学生達へ自衛隊の魅力アピールした。男子学生を主とし約30名の参加者があり、教員や進路指導部長も同席した。防衛医科大学校の概要をはじめ、医官として国内外で活躍できること、公務員として仕事ができることなど自衛隊で活躍できるステージが多数用意されており、今後も色々な可能性が秘められていることを伝えた。また、防衛大学校や航空学生についての説明を行うと、学生生活やその後の進路について興味を持つ生徒もおり、各試験の資料を片手に広報官に質問する姿が印象的だった。説明会終了後の学生からは「防衛医科大学校の特色が理解できました」「防衛大学校の受験も考えてみたいです」と嬉しい感想があった。

市ヶ尾募集案内所は「高校生の真剣な眼差しを受けての説明には力が入った。防衛医科大学校の教育内容や医官としての勤務するイメージを理解してもらえる貴重な時間だった。同校より未来の医官や幹部候補生が誕生するよう、引き続き学校と連携を図り志願者を獲得していきたい」としている。



熱心に聞き入る生徒たち



近藤所長の説明を受ける生徒たち

## 「ビッグレスキューかながわ」において災害時における自衛隊の活動をPR



神奈川県知事に対してブース説明

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本真祐）は、8月31日（土）、伊勢原市総合運動公園で実施された「ビッグレスキューかながわ」において、災害時における自衛隊の活動をPRした。

「ビッグレスキューかながわ」は、九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）合同防災訓練のうち、神奈川県が主催する大規模災害を想定した総合防災訓練であり、神奈川県本は毎年本訓練に参加している。

当日は天候に恵まれ、黒岩神奈川県知事をはじめとする多数の関係者が視察する中、神奈川県本が管理する第31普通科連隊本部管理中隊の即応予備自衛官も、警察・消防隊員、関係自治体関係者らとともに、負傷者の搬送等の訓練を整斉と実施し、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮した。

当日神奈川地本は、中央会場に展示ブースを設置し、来場者に対して災害時における自衛隊の活動を説明するとともに、自衛官という職業のやりがい、予備自衛官及び即応予備自衛官の重要性を説明し、各種広報グッズの配布を行った。

特に、当日の自衛隊の訓練状況を目の当たりにした来場者は、自衛隊の活動や即応予備自衛官の制度等について興味を深め、熱心に説明を聞く様子も見られた。

神奈川地本は、「今後も引き続き、あらゆる機会を活用して、自衛隊の役割をPRするとともに、自衛官、予備自衛官及び即応予備自衛官志願者の確保につなげていきたい」としている。



ブース来場者に対して予備自衛制度説明



来場者に対して広報グッズの配布



ブース来場者に対して自衛官募集説明